

指定管理者事業報告書（令和 6 年度末報告）

令和 7 年 4 月 30 日 提出

担当課	高齢者福祉課
-----	--------

施設名	三原市デイサービスセンターさぎうら		連絡先	084-928-0503
指定管理者団体	団体名	特定非営利活動法人 地域の絆		
	代表者名	代表理事 中島 康晴		
	所在地	福山市木之庄町四丁目5番25号		

1 職員体制（人数欄のうち（ ）内は非常勤職員の内数）

職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数
管理者 (生活相談員・介護職兼務)	1人 (0人)	1 人	介護職員	3人 (2人)	1 人
看護職員 (機能訓練指導員兼務)	2人 (2人)	0 人	調理員	2人 (2人)	0 人
常勤職員（合計）		非常勤職員（合計）		6 人	

2 開館日・開館時間・利用状況等

	実施計画【年間ベース】 α	実績【年間実績】 β	達成率 $\beta \div \alpha$	自己評価	市担当課評価	
					評価	評価の内容
開館日	月～金 第1、3土曜日	月～金 第1、3土曜日	—	A	A	計画どおり実施できている。
開館日数(X)	280	278	99.3	A	A	
開館時間	8：00～16：00	8：00～16：00	—	A	A	計画どおり実施できている。
延べ利用者数 (Y=a+b)	2,800	2,719	97.1	B	A	昨年度から194人増加しており、概ね計画どおりに実施できている。
うち通常業務 (a)	2,800	2,639	94.3	B	A	昨年度から211人増加しており、概ね計画どおりに実施できている。
うち自主事業 (b)	0	80	—	B	B	地域貢献及び利用者確保のため、さらなる自主事業の計画・実施を期待する。
延べ利用日数(Z)	280	278	99.3	A	A	
稼働率 (①)	66.7	65.2	97.8	A	A	概ね計画どおりである。昨年度からさらに上昇しており、新型コロナウイルス感染症による影響を受けていた期間を経て、回復傾向にある。

※1 稼働率の計算式(単位: %)

- ① 利用者数で稼働率を算定する場合の計算式 利用者数(Y) ÷ 開館日数(X) ÷ 利用定員(1日あたり 15 人) × 100
 ② 施設の区分ごとの利用日数で稼働率を算定する場合の計算式 利用日数(Z) ÷ 開館日数(X) × 100

※2 稼働率欄の()内には、使用した計算式に応じ、①又は②と記入すること。

※3 施設の区分ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表1に記入すること。

※4 曜日ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表2に記入すること。

別表1 施設の区分ごとの利用件数・利用者数・稼働率

	実施計画【年間ベース】			実績【年間実績】		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
通所介護事業	403	2,800	66.7	380	2,639	63.3
合計	403	2,800	66.7	380	2,639	63.3

別表2 曜日ごとの利用者数・稼働率

	平日（239日）			土日祝日（39日）			通年（278日）		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
通所介護事業	324	2,288	63.8	56	351	60.0	380	2,639	63.3
合計	324	2,288	63.8	56	351	60.0	380	2,639	63.3

3 事業評価

項目	事業計画書の概要	自己評価		市担当課評価	
		評価	B以下の場合、改善・課題の具体的な内容	評価	評価の内容
1 施設管理体制	職員配置	A		B	引き続き人員確保に努めていただきたい。
	職員研修	B	事業所内の勉強会開催はあるが、法人グループ内研修への参加率も引き続き増やしていく。	B	柔軟な参加方法を確保するなど、グループ内研修についても参加促進に努めていただきたい。
	利用促進業務	B	コロナ禍以前に近づくよう営業も徐々に再開している。また、利用促進に努めている。	A	徐々に利用状況も回復しているが、引き続き、利用促進に努めていただきたい。
	設備・備品管理	A	可能な限り自社で修理補修を実施している。	A	適切に実施されている。
	現金管理	A		A	適切に実施されている。
	安全体制管理	A		A	適切に実施されている。
	緊急時の対応	A	コロナ感染陽性者の方には、感染拡大防止のために自宅待機をしていただく。	A	適切に実施されている。
2 利用者に関する業務	利用状況	B	引き続き体調管理の声掛け注意喚起を行う。	A	適切に実施されている。
	利用料金の設定	A		A	適切に実施されている。
	接客対応	A	法人理念に沿って、利用者の意向を尊重した対応を心掛けている。	A	適切に実施されている。
	個人情報保護	A		A	適切に実施されている。
3 施設維持管理状況	保守点検業務	A		A	適切に実施されている。
	清掃等維持管理業務	A		A	適切に実施されている。
4 実施事業	企画運営事業	A	地域交流事業として地域の方を招いてイベント開催。また年2～3回、地域のサロンに職員が参加をした。	A	適切に実施されている。
	自主事業	B	ふれあい給食の利用者ニーズなどの発掘のため、ケアマネと連携し情報共有の機会を設けている。	B	地域貢献及び利用者確保のためにも、さらなる自主事業の計画・実施を期待する。

4 事業収支

	実施計画	決算	備考	市担当課評価
【収入合計】	34,000,000	33,914,369		
利用料金	24,000,000	24,326,309	介護保険請求、利用者負担	
自主事業収入	0	0		
指定管理料	9,000,000	9,000,000	管理運営委託料	
その他	1,000,000	588,060	その他補助金(ワリー交通費、ふれあい給食)	
【支出合計】	34,000,000	27,148,366		
人件費	23,000,000	19,419,416		
常勤	10,000,000	9,127,126	常勤2名分	
非常勤	13,000,000	10,292,290	非常勤6名+事務職員分	
事務費	950,000	887,100		
消耗品費	950,000	887,100	事務・消耗品費・支払手数料等	
備品購入費	0	0		
事業費	5,100,000	3,364,388		
通常業務	5,100,000	3,364,388	食材・会議費・交通費・広告宣伝費等	
自主事業	0	0		
施設維持管理費	4,000,000	3,018,683		
設備管理費	600,000	311,468	衛生管理費他	
保安警備費	0	0		
光熱水費	2,800,000	2,381,252	電気代・水道代・ガス代	
修繕費	600,000	325,963	車両含む	
その他	950,000	458,779		
	450,000	283,585	保険料等	
	500,000	175,194	減価償却費・租税公課・その他	
【取 支】	0	6,766,003		
支出のうち委託費	-	-		

5 利用者等からのクレーム対応等（具体的な事例を簡潔に）

主な内容	回答	対応措置	対応に対する反応	検証
皆様のご理解のもと、今年度はクレーム等はありませんでした。				

※ 検証欄は、担当課が検証・分析を行い、記入すること。

6 運営上の課題、市への要望等（ご自由にお書きください。）

内容	担当課回答
コロナ禍同様ご利用者・職員の感染対策等神経を使いつながら活動を行っていますが、今後も引き続き感染対策を継続していく必要がある。	引き続き、適切な対応をお願いする。
昨年同様、島しょ部での人材確保に限りがあり、多くの利用者を増やし収支状況をとる事が難しい状況である。求人媒体、知人からの紹介等だけでなく紹介会社の利用も増やして対応をしているが自助努力だけではなかなか改善するには至らず、支援を受けながら運営をしていかざるを得ない状況である。特にコロナ禍の影響も随所にまだあり、活動の幅が広がりにくい状況下にあるため、令和7年度も引き続き支援をお願いしたい。	離島という立地条件から、人材確保、利用者増加の難しさは理解する。人材確保、利用者増加について、引き続き対応をお願いしたい。行政としても、必要な支援について検討及び実施していく。
人材確保や財政面においても、事業所の広報活動が必要であるが、まだまだ情報収集にも制限がある場合もあり島しょ部の難しさも影響し引き続き支援をお願いしたい。	離島という立地条件も加味したうえで、行政として必要な支援を検討及び実施していく。
施設および設備・備品関係の老朽化により、修理や買い替え等が必要になることが予測され、高額になる場合は支援をお願いしたい。	責任分担に従って、適切に対処する。

7 市担当課総合評価

利用状況等について、計画を下回ってはいるが、昨年度に引き続き、利用者数は増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた期間を経て、徐々に状況改善がみられる。引き続き適切な感染症対策に取り組み、安心して利用できる体制を維持するとともに、さらなる利用状況促進に努めていただきたい。
利用者が島内に限られており、新たな利用者確保が厳しい状況ではあるが、利用者確保及び利用促進と併せて、地域との連携・協力・交流のため、自主事業の計画・実施を期待する。